

## スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日: 2020 年 2 月 11 日

提案団体名: スマートライト株式会社 (複数団体による提案も可とします)

## ○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>公共施設や商業施設、家庭などで使用される設備制御の国際規格 KNX(IEC14543-3)と、同じく国際規格の照明制御 DALI(IEC 62386)を使い、他設備との連動や、外部サーバーからAPIを使ってシステムを構築した実績があります。</p> <p>また、こちらは実験中ですが、機械学習を使った物体検知からの照明制御、ARとしてマイクロソフトのHoloLensやソフトバンク社のロボット ベッパーとの連動も行っています。</p>	6
(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>Society5.0では「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合」と提唱されています。</p> <p>日本国内の状況を見ると、サイバー空間側ではベースに仕様がオープンな技術を採用していることが多い為、複数企業間での連携が容易ですが、フィジカル空間側では、企業独自の仕様に基づいてつくられた方式が多いため、企業間での連携やサイバー空間側との接続に多大なる労力がかかります。</p> <p>今後、フィジカル空間側を代表する設備について、サイバー空間側と同じようにオープンな技術を使っていけば、通信ネットワーク技術とセンシング技術、分析・予測技術などを用い、設備で使用するエネルギーの削減、照明や温度、人の流れを設備で制御を行うことによる、生産性向上や環境の改善などをできると考えています。</p>	イ
(3) その他	
<p>本業は設備制御ですが、趣味でNVIDIA社のAI開発ボード「Jetson Nano」という製品の書籍を書いています。(共著) 「Jetson Nano 超入門」<a href="http://www.sotechsha.jp/pc/html/1251.htm">http://www.sotechsha.jp/pc/html/1251.htm</a></p> <p>これから設備はAIとつながり自動的に制御する時代になるので、この知見がスマートシティの取り組みにも役立つと考えています。 よろしくおねがいします。</p>	

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

## ○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
	中畑隆拓	080-3448-8740	<a href="mailto:nakahata@smartlight.jp">nakahata@smartlight.jp</a>